

国会前・霞が関チラシ配布行動 (第6回)を堂々展開！！

本部は6月7日、第6回目の国会前・霞が関におけるチラシ配布を行いました。当日は、梅雨入りの中、あいにくの曇り空ではありませんでしたが、新潟や仙台の仲間も駆けつけイーストユニオンの運動を堂々と展開しました。

参加された仲間は「おはようございます！！ JR連合 ジェイアール・イーストユニオンです」と元気に声を出しながら配布行動を行いました。1年にわたって展開してきたチラシ配布



行動。多くの成果がありました。特に、私たちにおける暗澹たる闇の問題「過激派革マル派浸透問題」についてはチラシを受け取った方が足を止め、組合員に質問される場面も見受けられました。また、中期政策ビジョンや政策の問題、とりわけ「重点政策」について記載されたものは、霞ヶ関などで積極的に受け取りに来られる光景もありました。こうした姿を見るにつけJRの問題、とりわけJR会社の問題については関心を持っている、注意深く見ている事を実感できました。

来年は国鉄改革から30年が経過します。この30年の間には多くの問題を解決する事ができました。しかし、国鉄改革のもうひとつの大きな課題であった労使関係は、いまだ解決にいたっていないばかりか、逆に深度化してしまったと考えます。表面上での経営安定はあるものの、その深層に潜む過激派革マル派の暗い影、その影はますます大きくなるのではと危惧します。特に今後多くをしめるJR採用の経営幹部は、その存在をあまりにも軽視しすぎていると思います。国鉄がなぜ倒産せざるをえなかったのか。今一度振り返り考えてみる必要があると思います。

私たちが改革し創造してきたこの会社の未来を、持続的に明るいものにするために、この暗雲・暗い影を白日の下に晒す運動に取り組んでいきます。さらにイーストユニオンと考えを同じくするJR連合の策定した「あるべく労働組合像・労使関係像」を、より広範に広げ深度化する運動も併せて展開し訴えていきます。

今 自らできることを 自ら考え行動！！

「変革への挑戦」